

# 地域協育ネットの構築に向けて

～地域ぐるみで育てる大殿の子ども～

【山口市 大殿中学校区】

## 地域の概要

大殿地区は山口市のほぼ中心にあり、美しい自然に恵まれた地域です。

また、大内文化が花開いた地にふさわしく、人間味のある歴史と伝統にあふれ、「アートふる山口」や「一の坂ほたる鑑賞の夕べ」等、地域をあげての行事も活発に行われています。

地域には1つの小学校と1つの中学校があり、学校教育に対して協力的な住民が多く、また専門的な知識や技能をもたれた方も数多く居住されています。

人 口	7,858人	
世 帯 数	3,939世帯	
対象校及び 児童・生徒数	大殿中学校	254人
	大殿小学校	608人

## 組織の内容

平成20年度から、大殿小学校では学校支援地域本部事業に取り組み、教育活動を全面的にバックアップする組織を設置、取組の計画は自治会、地域交流センター、地域ボランティア団体、コーディネーター、学校関係者の代表をメンバーとした地域教育協議会で立案しています。今年度からは、大殿小学校運営協議会を立ち上げ、学校支援地域本部事業もその中核として位置づけ、さらなる活動の充実・深化を図っているところです。

1年次は、学校支援地域本部事業を地域に定着させるための広報活動の実施及びボランティアの募集に力を入れるとともに、教職員や保護者の理解を十分に図ることに力を入れました。

2年次は、実際に授業や体験の場面で有効なボランティア活動が展開できるよう、ボランティア研修会や教職員とのスムーズな連携をめざした打ち合わせ会を実施し、活動の充実を図りました。

3年次は、さらに幅広い支援体制を構築するため、関係団体や多くのボランティア組織との連携を進めてきました。

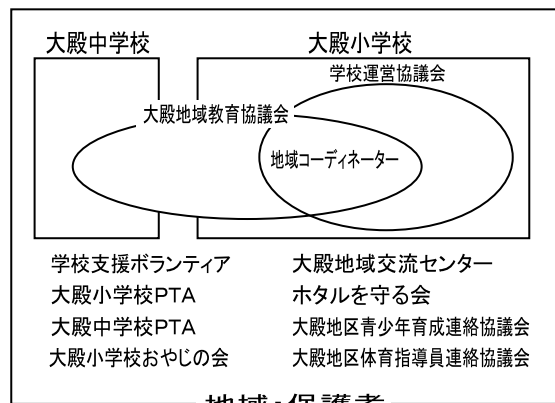
今年度は、地域の教育力のさらなる掘り起こし及び活用に力を入れるとともに、地域協育ネットの構築に向けた人材バンクの共有化等、大殿中学校との連携を一層強め、地域全体で児童・生徒を育てる組織づくりをめざしており、現在、キャリア教育推進の観点から、小学校での職場見学や地域探検と中学校での職場体験を継続的な取組とするなどの工夫を進めています。

今年度の登録ボランティア数は約290名、これまでの実施事業数は約150に及びます。

### 大殿小学校 募集



図書ボランティアの打合せ



大殿地域 教育協議 会構成	自治会	1名
	地域交流センター	1名
	大殿ホテルを守る会	1名
	コーディネーター	1名
	学校関係者	4名

## 主な活動の紹介

### ○コーディネーターとしての活動

- ・ボランティアの発掘（募集）
- ・広報誌「みんなの手で」の発行
- ・学校支援活動の依頼、調整
- ・ボランティア来校時の対応（名札作り等）
- ・地域情報の提供及び活用

### ○ボランティア活動の内容

- ・教科学習
  - 社会科での歴史探訪、生活科での校外学習支援(安全確保)
  - 音楽科での「山口祇園囃子」指導、家庭科でのミシンの使い方指導
- ・総合的な学習
  - ホテル飼育のためのカワニナ取り・ホテルの放流・ホテルの生態についての指導、大内塗体験、しめ縄作り、焼き芋会、世界の食糧（食育）、留学生との異文化交流、大内文化の学習
- ・特別活動(クラブ活動)
  - 英語で遊ぼう
- ・読み聞かせ活動
  - 朝の読み聞かせの会、お話会、読み聞かせの本の発行
- ・環境整備等
  - 学校環境整備、各種賞状の筆耕、図書室の本の整理及び補修
- ・その他
  - 地域行事での作品展示準備



英語で遊ぼうクラブ



しめ縄作り

## 今後の取組

これまでの成果として、学校がめざす教育と地域の求める教育の姿が次第に近づいてきたように感じています。また、学校の展開するそれぞれの教育活動に対する地域からの支援が充実してきており、ボランティアが新たなボランティアを生む等、地域内での自主的な活動の広がりも出てきました。

今後は、小・中学校の連携をさらに深めつつ、地域の人材等、教育力を共有・活用し、地域ぐるみで子どもたちを育てる体制をより強化していきたいと考えています。

## コーディネーターさんにインタビュー

Q：4年目を終えるにあたっての感想は？

A：取組を続けてきた結果、学校が必要とするボランティアの確保ができるようになり、さらには学校が進めたい教育活動に十分対応できるようになりました。以前は、ボランティアのみなさんから児童とともに過ごした喜びの声を多く聞きました。最近では、参加した喜びはもとより、学校のために役に立ったことに対する喜びの声を多く耳にします。こうしたボランティアのみなさんの声が地域に広がりつつあることは、地域の教育力の向上につながるものと思っています。

Q：中学校を視野に入れた活動に期待することは？

A：小中9年間という長いスパンで支援ができるため、子どもたちとボランティアとのかかわりが密になるとと思います。それが活動の安全確保や効率化にもつながっていくのではないのでしょうか。